

研究結果

本当に有意義な交流を実現するためには、形式的な交流より内容を重視した交流が必要なら、留学生が論文を作成するために、留学先の人々と討論する時に内容を重視した交流がどのくらいできているのかを考察するのがこの研究の目的である。

この目的に沿って、本研究では以下のように問題を設定した。まず、留学生が論文を作成するために留学先で交流する際、どのようなやりとりが交わされているのか、また付き合う時にどのような困難があるのかを明らかにする。次に、その討論の際に内容を重視した交流がどのくらいできているのだろうか。つまり、論文に書かれた言葉や文法などの形式的なレベルのチェックにとどまるのか、それとも内容にも注意深く重視するのかに注目した。そして、内容を重視する交流ができていないとするなら、それはどうしてであるのか。最後に、留学生に有益な援助を提供するには、何をどうすればいいのか。

インタビューとアンケート調査から収集したデータを内容分析するにあたっては、(1) 修正の内容、(2) 修正のプロセス、(3) 修正の回数、(4) 修正の方式、そして(5) 希望的な修正と実際に受けた修正など五つの点に着目して検討を行っている。また、留学生には二つの交流、つまり日本語をよくするための交流（形式重視）と、研究を進めて知識を得るための交流（内容重視）があることを踏まえて分析している。最後に、この研究では、修正の内容、修正のプロセス、修正の回数、修正の方式を述べた上、留学生の望んだ修正と実際もらった修正について（異）文化の観点で説明をまとめており、そして、考察では、留学生が頭に描く理想像と現実との間にギャップが生じた場合、日本側が留学生に何をどうすればいいかについて述べている

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

洪 國財、2009、留学生が論文作成時に直面する諸問題とその解決策をめぐる研究、台湾日本語学会 (予定)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

洪 國財、2010、留学生が論文作成時に直面する諸問題とその解決策をめぐる研究、国立台中技術学院学報 (予定)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)